様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第１回豊橋警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和７年２月19日（水）午後２時から午後４時まで
出　席　者	１　委員　13名（定数15名） 亀山　道生会長　　松井　孝悦副会長　朝倉　あや子副会長 髙野　守夫委員　　可知　久充子委員　中野　浩二委員 井川　博之委員　　近藤　幹浩委員　　小澤　益代委員 北河　幹生委員　　田邉　昌宏委員　　杉浦　実千代委員 岡田　佐加絵委員
	２　警察署員　９名 竹村署長　　伊東副署長　　村川警務課長 草間会計課長　山本生活安全課長　荻野地域課長 戸苅刑事課長　村松交通課長　　小倉警備課長
	３　有識者等 なし

１　委嘱状の交付

署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。

２　会長及び副会長の選出等

委員の互選により、亀山委員を会長に選出し、会長は、松井委員、朝倉委員を副会長に指名した。

３　会長挨拶

４　署長挨拶

５　前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況

(1)　前回の協議事項

被災地派遣を想定した平素の準備

(2)　前回の意見・要望

ア　被災者支援を想定した訓練の実施

イ　被災地で活用する装備資機材の整備と活用訓練

ウ　被災者の声を聞くなど、被災者に寄り添った訓練の実施

(3)　施策推進状況

ア　倒壊家屋からの救出活動を想定した降下訓練を実施した。

イ　倒壊家屋からの救出活動を想定した資機材活用訓練を実施した。

ウ　東日本大震災、能登半島地震等における被災者の声として、

「とにかく早く来て欲しい」「被災初期段階で大渋滞となったので、周辺道路の交通整理をして欲しい」との声に基づき、10 キロの水を担ぎ、豊橋署から伊古部海岸の間を往復する強歩訓練、非常発動発電機を活用した信号機復旧訓練を実施した。

6　協議事項

高齢者の交通事故抑止対策

7　発言の要旨

・　高齢者は身体能力、運動機能の低下があると思うが、能力の衰えを自覚してもらうような体験型の交通安全教室を行っていったらどうか。

・　色々広報活動を行っていると思う。高齢者が多く集まる商業施設や病院には高齢者が多く通院している。色々な機会に交通安全啓発広報をしてもらいたい。

・　運転免許証の自主返納制度の特典は、有効期限内に免許証を返納し、運転経歴証明書を発行しないと、各種特典が使えないことを知らなかった。もっと自主返納制度について周知してほしい。

・　運転経歴証明書等での優遇措置を受けられる制度を導入している高齢者交通安全サポーター企業を増やす呼び掛けをしてほしい。

8　意見・要望

・　高齢者に対する参加体験型の交通安全教育の推進

・　高齢者が多数集まる商業施設等での広報啓発活動の実施

・　運転免許証の自主返納制度の周知と高齢者交通安全サポーター企業の拡大

9　その他

(1) 速度取締指針の説明

交通課長から、速度取締指針の説明があった。

(2) 会議に伴い、出席委員が豊橋警察署留置場を視察した。

(3) 次回開催予定

令和７年５月中旬以降

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。